

企画展示

ミステリー イン 千葉 *Mystery in Chiba*

9月22日(金)～11月15日(水)

「四季を通じて穏やかな気候、大きな災害も比較的少なく、温和な人情」このようなイメージで語られやすい千葉県は、少なくともミステリーの舞台を提供しにくい風土だといえます。そのようななかでも千葉県を舞台にしたミステリー小説は少数ながら存在しています。また、千葉県の高校、大学を卒業して活躍している高名なミステリー作家も存在しています。

今回の企画展では、千葉県を舞台にしたミステリー小説と千葉にゆかりのあるミステリー作家、**真保裕一**、**伊坂幸太郎**、**辻村深月**の3人を紹介しています。秋の夜長を十分に楽しんでください。

千葉県ゆかりのミステリー作家3人

真保裕一（しんぽゆういち 1961年5月24日生）

東京都で出生、習志野市立第3中学校、千葉県立国府台高校を卒業する。1991年に「連鎖」で第37回江戸川乱歩賞を受賞、1995年に「ホワイトアウト」で第17回吉川英治文学新人賞を受賞、1997年に「奪取」で第10回山本周五郎賞と第50回日本推理作家賞（長編部門）を受賞する。作品は、ミステリーにとどまらず冒険、時代小説など幅広い執筆活動が続いている。

【展示中の本】

連鎖（第37回江戸川乱歩賞受賞作品）

ホワイトアウト（第17回吉川英治文学新人賞受賞作品）

奪取（第10回山本周五郎賞受賞作品）

灰色の北壁（第25回新田次郎文学書受賞作品）

奇跡の人（作品に市川市周辺が登場）

ボーダーライン（第122回直木賞候補作品）

震源（第50回日本推理作家賞（長編部門）候補作品）

伊坂幸太郎（いさかこうたろう 1971年5月25日生）

松戸市出身、千葉県立小金高等学校、東北大学法学部を卒業する。2000年に「オーデュポンの祈り」で第5回新潮ミステリー倶楽部賞を受賞、2004年に「アヒルと鴨のコインロッカー」で第25回吉川英治文学新人賞受賞、「死神の精度」で第57回日本推理作家協会短編部門賞を受賞、2008年「ゴールデンスランパー」で第5回本屋大賞を受賞する。登場人物など作品間のリンク性、ユーモアを交えた読み

やすい文章構成により絶大な人気を博している。

【展示中の本】

重力ピエロ （2000年直木賞候補作品）

ゴールデンスランパー （第5回本屋大賞受賞作品）

チルドレン

ラッシュライフ

オーデュポンの祈り （第5回新潮ミステリー倶楽部賞受賞作品）

アヒルと鴨のコインロッカー （第25回吉川英治文学新人賞受賞作品）

死神の精度 （第57回日本推理作家協会短編部門賞受賞作品）

辻村深月（つじむらみづき 1980年2月29日生）

山梨県笛吹市出身、**千葉大学教育学部**を卒業する。2011年に「ツナグ」で第32回吉川英治文学新人賞を受賞、2012年に「鍵のない夢を見る」で第147回直木三十五賞を受賞する。この他に本屋大賞を含め著名な文学賞候補に度々推薦される。若者の心情を巧みに捉えた文章表現により、若者を中心に共感が広まっている。アンハッピーエンドの作品がほとんどない。

【展示中の本】

鍵のない夢を見る （第147回直木三十五賞受賞作品）

凍りのくじら （第27回吉川英治文学新人賞候補作品）

朝が来る （第13回本屋大賞候補作品）

オーダーメイド殺人クラブ （第145回直木三十五賞候補作品）

水底フェスタ （第2回山田風太郎賞候補作品）

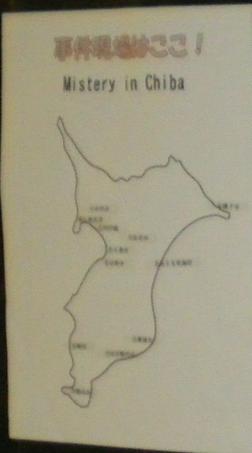
ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。 （第31回吉川英治文学新人賞候補作品）

ぼくのメジャースプーン （第60回日本推理作家協会賞候補作品）

※以上の作品は全て貸出可能です（[ブックリストはこちら](#)です）。

Mystery in Chiba

ミステリー イン 千葉



企画展示
ミステリーイン千葉
Mystery in Chiba
2017年11月1日(金) - 11月18日(金)

千葉県ゆかりのミステリー作家3人

真保裕一 (しんぼゆういち 1961年5月24日生)
東京都で出生。資治野市立第3中学校、千葉県立国府台高校を卒業する。1991年に「連続」で第37回江戸川乱歩賞を受賞。1995年に「ホワイトアウト」で第17回吉川英治文学新人賞を受賞。1997年に「解取」で第10回山本周五郎賞と第50回日本推理作家賞(長編部門)を受賞する。作品は、ミステリーにとどまらずSF、時代小説など幅広い執筆活動が続いている。

- 【展示中の本】
- 連続 (第37回江戸川乱歩賞受賞作品)
 - ホワイトアウト (第17回吉川英治文学新人賞受賞作品)
 - 解取 (第10回山本周五郎賞受賞作品)
 - 灰色の北壁 (第25回勲田次郎文学賞受賞作品)
 - 奇跡の人 (作品に市川市川辺が登場)
 - ホーダーライン (第122回日本推理作家賞)
 - 真源 (第50回日本推理作家賞(長編部門)候補作品)



伊坂幸太郎 (いさかこうたろう 1971年5月25日生)
松戸市出身。千葉県立小倉高等学校、東北大学法学部を卒業する。2000年に「オーデュボンのはり」で第5回新選ミステリー倶楽部賞を受賞。2004年に「アヒルと鴨のコインロッカー」で第25回吉川英治文学新人賞を受賞。「死神の精度」で第57回日本推理作家協会短編部門賞を受賞。2008年「ゴールデンランパー」で第5回本屋大賞を受賞する。登場人物など作品間のリンク性、ユーモアを交えた読みやすい文章構成により絶大な人気を博している。

- 【展示中の本】
- 重力ゼロ (2000年本屋大賞候補作品)
 - ゴールデンランパー (第5回本屋大賞受賞作品)
 - ナルシスト
 - ランジュライフ
 - オーデュボンのはり (第5回新選ミステリー倶楽部賞受賞作品)
 - アヒルと鴨のコインロッカー (第25回吉川英治文学新人賞受賞作品)
 - 死神の精度 (第57回日本推理作家協会短編部門賞受賞作品)



辻村深月 (つじむらみづき 1980年2月29日生)
山形県沼津市出身。千葉大学教育学部を卒業する。2011年に「ツナグ」で第32回吉川英治文学新人賞を受賞。2017年に「謎のない夢を見る」で第147回読者三十五賞を受賞する。この他に本屋大賞を含め数々の文学賞候補に度々推薦される。読者の心機を巧みに捉えた文章表現により、読者を中心に共感の広まっている。アンハッピーエンドの作品がほとんどない。

- 【展示中の本】
- 謎のない夢を見る (第147回読者三十五賞受賞作品)
 - 涙のくじら (第37回吉川英治文学新人賞候補作品)
 - 解が来る (第3回本屋大賞候補作品)
 - オータメイト殺人クラブ
 - 水虫フェイク (第145回読者三十五賞候補作品)
 - ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ (第31回吉川英治文学新人賞候補作品)
 - ぼくのメジャースペイン (第60回日本推理作家協会賞候補作品)



千葉県を舞台にしたミステリー小説

題名	著者	出版社	発行年
1. 連続	真保裕一	講談社	1991
2. ホワイトアウト	真保裕一	講談社	1995
3. 解取	真保裕一	講談社	1997
4. 灰色の北壁	真保裕一	講談社	1999
5. 奇跡の人	真保裕一	講談社	2000
6. ホーダーライン	真保裕一	講談社	2001
7. 重力ゼロ	伊坂幸太郎	講談社	2000
8. ゴールデンランパー	伊坂幸太郎	講談社	2008
9. ナルシスト	伊坂幸太郎	講談社	2009
10. ランジュライフ	伊坂幸太郎	講談社	2010
11. オーデュボンのはり	伊坂幸太郎	講談社	2000
12. アヒルと鴨のコインロッカー	伊坂幸太郎	講談社	2004
13. 死神の精度	伊坂幸太郎	講談社	2007
14. ツナグ	辻村深月	講談社	2011
15. 謎のない夢を見る	辻村深月	講談社	2017
16. 涙のくじら	辻村深月	講談社	2018
17. 解が来る	辻村深月	講談社	2019
18. オータメイト殺人クラブ	辻村深月	講談社	2020
19. 水虫フェイク	辻村深月	講談社	2021
20. ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ	辻村深月	講談社	2022
21. ぼくのメジャースペイン	辻村深月	講談社	2023



ス
「あるとき
大分おもしろい
おもしろい
おもしろい」
します。
手紙を書くこと
は、中学で、動物
の